

実践事例.04

先生も生徒も成長が実感できる
社会人インタビューを核とした
特色科目「コミュニケーション」

神奈川県立横浜清陵総合高校

開校当時から変わらない
4つの特色科目

神奈川県立横浜清陵総合高校は、2004年、普通科2校の合併により誕生した単位制による総合学科高校。開校以来、生徒に「生き方を考えさせ」、「個性に適った進路選択を、より高いレベルで実現させる」ことを学校経営理念の大きな柱に据え歩み続けている。

同校で、開校当時からほぼ変わらない形で実践されているのが、4つの特色科目（図1）を軸としたキャリア教育。1年次の「産業社会と人間」と3年次の「探求」（課題研究）は総合学科の必修科目だが、さらに2年次で「コミュニケーション」と「視点」（総学）を追加。計7単位を使って学んでいる。今年度より赴任した山下てるみ先生は「創立時のメンバーが目的をもってこれらの科目を作り、検証しながら発展させてきたことはすばらしいと思います。先見の明があった」と語る。

何回断られても必ず達成させる
社会人インタビュー

4科目のなかでも社会人インタビューを核とした「コミュニケーション」は、これがあるから入学したいという生徒もいるほど特徴的で、卒業生アンケートでも最も満足度の高い科目だ。

コミュニケーションの基礎や、仲間インタビュー（写真・図2）などを経て、インタビューに向けたアポ取りが始まる。インタビューにはいくつもの決まりがある。まず、テーマは「人と仕事」。仕事紹介ではなくその人の生き方に迫る内容が求められる。また、複数の生徒が同じ人にインタビューすることは許されない。自分が本当に興味をもっている人を選び、最初の電話からインタビューまで、自分一人の力で実現させることが課せられる。「妥協しない、あきらめない」ということを言い続けています。1回の電話で了承を得られることは少なく、さまざまなドラマが生まれます」と、金森万美江先生。夏休みも使ったアポ

取りのサポートで教員も多忙に。それでも続けているのは、「確実に生徒が成長するから」と金森先生。「仕事の内容はネットで調べられます。けれども、仕事をすると人たちがどう苦しみ、どう乗り越えるのかといった気持ちの部分にぐっと焦点をあてて話が聴ける機会は、ほかにありません」。時には8回、9回と断られることもあるが、最終的には毎年240人がインタビューを実施。内容は報告書にまとめ、報告会や発表会で成果を発表する。「おどおどしていた生徒が自信をもつ、自立する、気配りができるようになる。人が変わったというくらい成長する生徒がたくさんいます」と大西優先生は言う。

この「コミュニケーション」がずっと形を変えずに続いているのは、「2つの科目がひたひた歩きすることなく、4科目が補完し合っているから」と言うのは、総括教諭の高村正満先生。1年次の「産業社会と人間」の事業所見学や社会人講話などを経て、職業や社会にかかわる意識を高める。その発展科目が「コミュニケーション」



校長
船橋憲正先生



教頭
山下てるみ先生



総合学科
推進グループ
総括教諭
高村正満先生



総合学科
推進グループ
金森万美江先生

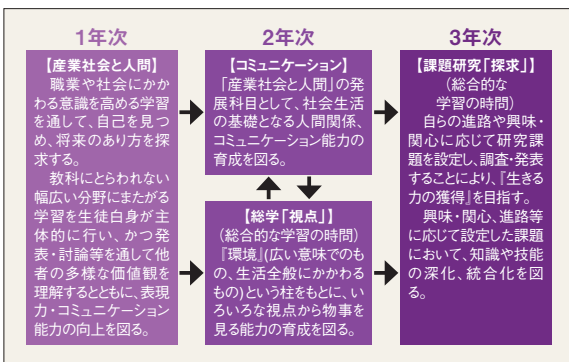


学習支援グループ
大西優先生

School Data

2004年創立 / 単位制総合学科 / 生徒数712人(男子224人・女子488人) / 進路状況(2012年度実績) 大学57.3%・短大7.9%・専門学校等22.1%・就職6.0%・その他6.7%

図1 特色科目の相互関連と位置づけ



取材・文 / 永井ミカ

Communication skills

コミュニケーション能力を育む



社会人インタビューの前に練習として行う仲間インタビュー。3人1組で、インタビュアー、インタビューされる人、観察する人の3役をもち回る。観察者用のワークシートは図2。

図3 2年「コミュニケーション」年間計画

実施月	回	指導項目	内容	時数
4月	1	ガイダンス	科目の目標の理解／1年間の授業の流れ 仲間づくり① ・知り合う	1
	2		仲間づくり② ・知り合う 話の聞き方・伝え方① ・伝達の時の位置関係	2
	3		仲間づくり③ ・協力と他者理解	2
	4	日本語トレーニング	コミュニケーションにおける日本語の重要性 日常の日本語トレーニング 話の聞き方・伝え方② ・会話における聞き手の態度	1
5	聞き書きトレーニング[基礎] ・要旨のとおり方 話の聞き方・伝え方③ ・会話における話し手の態度		1	
6	聞き書きトレーニング[発展] ・聞き書きから伝達へ		1	
5月	7	「インタビュー」ガイダンス	基礎学習のふり返り インタビュー実習の意義と課題・取材先の開拓 ・会話を広げる質問の仕方	2
	8	「インタビュー」導入	メディアから学ぶインタビューI・II	2
9	質問の方法 ・答えを引き出す効果的な質問方法 取材コンテの作成／仲間インタビュー		2	
10	仲間インタビュー／取材のまとめ方／取材記事作成		2	
11	仲間インタビュー発表／依頼文を書く		2	
7月	12	アポイントメントの取り方	2	
	13	「インタビュー」準備	特別講師による授業 「コミュニケーションはなぜ重要か」 産業能率大学 柴田匡啓先生	2
	14		依頼文書作成	1
15	取材コンテの作成 インタビュー台本作成		2	
10月	16	インタビューのマナー リハーサル	2	
	17	リハーサル	2	
11月	18	「インタビュー」実践	社会人へのインタビュー実習	2
	19	「インタビュー」実習のまとめ	礼状作成／取材メモまとめ 報告書下書き作成	2
	20		報告書下書き原稿完成・ ワープロ原稿作成	2
	21		報告書ワープロ原稿作成	2
22	報告書ワープロ原稿作成 封筒宛名書き		2	
12月	23	実習報告会準備	2	
	24	実習報告会準備	1	
	25	報告書作成(原稿修正)／ 実習報告会準備	1	
1月	26	実習報告会発表リハーサル	2	
	27	インタビュー実習報告会	2	
2月	28	科目のまとめ	インタビュー実習報告全体発表会 「インタビュー」のまとめとふり返り 1年間のまとめとふり返り	3
	29	コミュニケーションスキル	自己を知るためのトレーニング	1~2

40人のクラスに2人の教員が入るTT
「コミュニケーション」の指導体制は？
インタビュー相手を安易に選ばないようアドバイス

実践のポイント

「1科目で終わらない、3年間の積み上げ型だから生徒が成長するのだと思います。人間を成長させるのは「経験」。学んだら次は経験です。高校時代にこういった困難な経験をするかしないかは大きな違いだと思います」と、船橋憲正校長先生。

同校に、開校当時の教員はほとんど残っていないが、理念や目標が薄れることなく受け継がれているようだ。

ですが、原則1人は経験者にしていきます。6クラスの担当者全員で毎週打ち合わせを行い、進め方を協議しています。

「インタビュー相手の決め方は？」
 自分の就きたい職業人や将来進みたい分野に関連する人がすぐ決まればいいのですが、まだ「何をやりたいかわからない」という生徒には、「どういふことをしているときが楽しい？」など、カウンセリングのように話を決めていくこともありま。また、例えば本当に中学校の先生になりたいという気持ちから中学時代の恩師にインタビューするのはいいですが、知っているから、気楽だから、という理由で安易にお願いするのはやめようなどという指導をしています。(ヒントのコメントはすべて金森先生)

図2 仲間インタビューワークシート

ダウンロード可

【観察のポイント】

質問のしかた

- 核心をついた、ポイントをおさえた質問をしているか
- 話題がずれていないか？ 話が尽きていないか？
- 簡潔に質問しているか
- 自分以外のにもよくわかる言葉を使っているか？
- 聞きたいことを、短く簡単に伝えているか？
- 感じよく質問しているか？
- 相手の目を見ているか？
- 相手の話を真剣に聞いているか？
- あいつのタイミングがよかったか？
- 「そうですね」など、共感をしめすような言葉で応対できたか？

仲間インタビューの際、観察者が記入するワークシート。どこに注意して観察をすればいいかポイントがまとめられている。

生徒の感想「コミュニケーション1年間のまとめ」から

- 私が清陵に入学して、一番楽しみにしていたのが、このコミュニケーションの授業。特に、自分でアポをとってインタビューをするということが、すごく楽しかった。実際にやってみて、インタビューをする前とあとが一番大変だったように思う。ただ単純にインタビューをするだけではなく、その前後にいろいろな準備やまとめがありそのすべてをやって、やっとインタビューが終わったという感じだった。清陵の特色科目は、提出物があったり、面倒だなと思うこともあったけど、それをやり遂げた今、私は2年生になりたてのころより成長できた気がする。
- 相手と接する積極性が強くなりました。今までは人見知りだから、というコミュ障がい人間でしたが、授業だから嫌でも恥ずかしくても人とかわらなければいけない。人見知りには何という過酷な試練を与えるんだろうかと思っていたのですが、やっている内に人とかわかる楽しさがわかるようになったし、むしろもっといろんな人とかわかりたいと思うようになりました。
- 「挑戦していこう」と思う気持ちが大きくなりました。今までは消極的なことも多かったけれど、たくさんの人たちとかわかったり、自分から行動しなくちゃいけないことも多かったから、自然と変わっていくことができたと思います。